

CASIO®

DWS-200J*JA

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

この時計の特長

- ◆電波時計（国内2局対応自動選局機能付） P.38
福島県「おおたかどや山」(40kHz)
佐賀県と福岡県の境「はがね山」(60kHz)
- ◆携帯電話の接続 P.13
- ◆天気予報 P.15
- ◆音声ガイド機能 P.20
- ◆時報 P.24
- ◆センサーにより、温度・湿度を表示 P.26
- ◆生活環境お知らせ機能 P.26

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意) を意味しています
(左の例は感電注意)。



○ 記号は「してはいけないこと」(禁止) を意味しています
(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」(強制) を意味しています
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

⚠ 警告

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

⚠ 警告

無線について

病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 極性 (+) と (-) の向き) に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

⚠ 注意

電池について

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬけがをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

目次

この時計の特長	表紙	ボタンを押して時刻などを修正する	21
安全上のご注意	表紙裏面	デュアルタイムの時差を設定する	23
各部の名称	6	時報機能の使い方	24
電池を入れて設置する	7	時報の設定	24
表示について	9	音量調節	25
携帯電話と一緒に使う	13	温度・湿度の表示と 生活環境お知らせ機能	26
アプリケーションをインストールする	13	各アイコンの意味と説明	27
Bluetooth を設定する	13	ボタンを押して電波を受信する	28
ペアリングする	14	電波を受信できないときは	30
天気予報の表示について	15	電波受信機能を解除する	31
表示の濃さを見やすく調節する	19	製品仕様	32
音声ガイド機能の使い方	20	本機でできること	35
		アプリケーションでできること	35

ご使用上の注意 36

電源に関するご注意 37

 使用電池について 37

電波時計について 38

 電波時計とは 38

 標準電波 38

 電波の受信範囲の目安 38

 電波受信について 39

 正しく電波受信するために 40

 使用場所について 40

モバイルリンク機能に関する注意事項 .. 42

無線に関するご注意 43

商標、登録商標について 裏表紙裏面

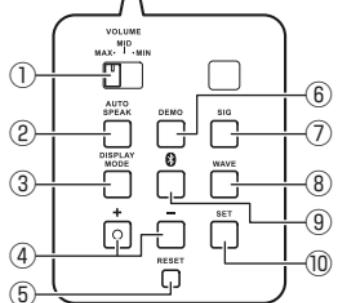
各部の名称

本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。
実際の製品とは異なることがあります。

(表面)



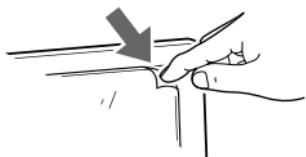
(裏面)



本書の記載	説明
① [VOLUME]スイッチ	時報や音声ガイドの音量を調節するときに使います。
② [AUTO SPEAK]	音声ガイドをオン／オフしたいときに押します。
③ [DISPLAY MODE]	表示する項目を切り替えるときに押します。
④ [+/-]	時刻設定や時報を鳴らす時間を設定するときに使います。
⑤ [RESET]	電池を入れたときに押します。正常に動作するように、時計を初期状態に戻します。 細い棒などで押してください。
⑥ [DEMO]	音声のデモを聞きたいときに押します。
⑦ [SIG]	時報を設定するときに使います。
⑧ [WAVE]	すぐに電波を受信したいときに押します。
⑨ [＊]	前回 Bluetooth に接続した日時を確認するときに押します（5秒間表示されます）。携帯電話と接続するときに長押しします。
⑩ [SET]	時刻を合わせるときや、設定項目を選ぶときに押します。

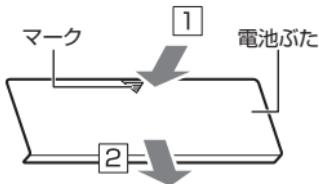
電池を入れて設置する

- ① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。



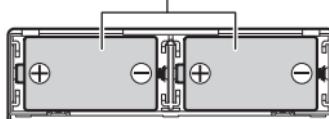
- ② 電池ぶたを開けます。

- 1 マークのあるところを押しながら
- 2 矢印の方向に開ける



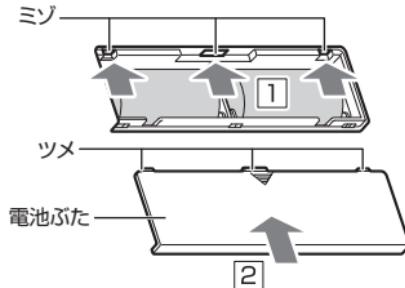
- ③ 電池を入れます。

単2形アルカリ乾電池2個



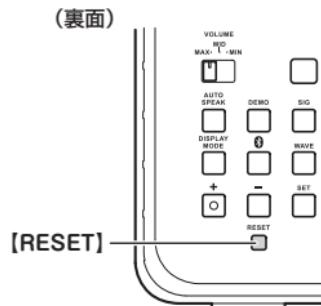
- ④ 電池ぶたを閉めます。

- 1 ツメを本体のミゾにあわせて
- 2 矢印の方向にスライドして閉める



電池を入れて設置する

⑤ [RESET] を細い棒などで押します（リセット操作）。



- 時計が「午後 12:00 00」から動き始めます。
- すでに時計が動いていても、リセット操作をしてください。
- 12:01になると、自動的に電波受信が始まります。
- 携帯電話で時刻等を設定する場合は、「携帯電話と一緒に使う」(13 ページ)をご覧ください。
- 一度接続（ペアリング）した後に電池交換等でリセットを押した場合、リセット前に本体に設定した内容は残ります（表示設定、機能設定：天気予報／時刻／デュアルタイム／時報／温湿度で設定した各内容が残ります）。

表示について

(初期画面)

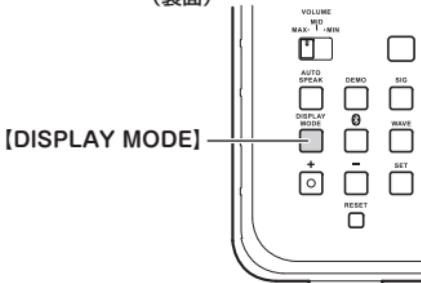


画面に表示する内容を、項目ごとに選ぶことができます。

① [DISPLAY MODE] を押します。

- 項目 1 が点滅します。

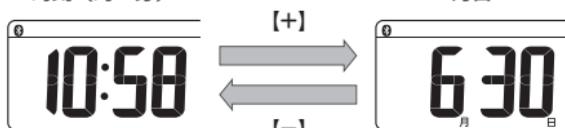
(裏面)



② 【+】または【-】を押して、表示内容を切り替えます。

- 以下の内容を選択できます。

時刻（時・分）



月日



温度・湿度

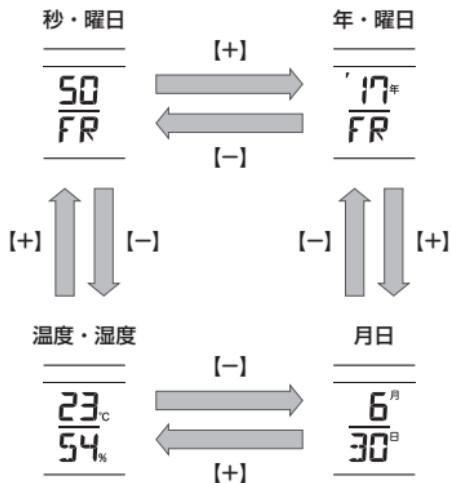
③ [DISPLAY MODE] を押します。

- 項目 2 が点滅します。

表示について

④ [+] または [-] を押して、表示内容を切り替えます。

- 以下の内容を選択できます。



注意

- 項目 1 で設定した内容によって、項目 2 で選択できる内容が変わります。

項目1	項目2
月日のとき	年・曜日、温度・湿度
温度・湿度のとき	年・曜日、月日

⑤ [DISPLAY MODE] を押します。

- 項目 3 が点滅します。

⑥ [+] または [-] を押して、表示内容を切り替えます。

- 以下の内容を選択できます。

天気予報（3時間ごと）

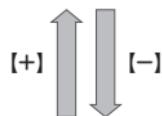
自宅	9	12	15	18
天候	☀	☀	☁	☂
最高温	18°	23°	20°	17°
最低温	15°	19°	17°	14°

天気予報（日ごと）

自宅	6/30	7/1	7/2	7/3
天候	☀	☁	☀	☀
最高温	19°	23°	26°	25°
最低温	15°	17°	16°	14°

天気予報（4地点）

自宅	外出先1	外出先2	外出先3
天候	☀	☂	☁
最高温	18°	15°	16°
最低温	15°	17°	14°



最高最低温度・湿度

最高最低温度湿度を記録した時刻

2:00	5:30	10:00	3:00
最低温度	28°	19°	73%
最高温度	30°	23°	46%

最低温度 最高温度

最低湿度 最高湿度

最高最低温湿度は、現在時刻から
約24時間以内に記録した値です。

[+]

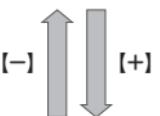
[-]

[+]

[-]

天気予報（4地点）

自宅	外出先1	外出先2	外出先3
天候	☀	☂	☁
最高温	18°	15°	16°
最低温	15°	17°	14°



デュアルタイム

ホームタイムとの時差

20/11	6:30	2:58	-8:00
時刻	00:00	00:00	00:00

[-]

[+]

年月日・時・分・秒・
温度・湿度

20/11	6:30	10:58	50
時刻	00:00	00:00	00:00

23° 54%

⑦ [DISPLAY MODE] を押して、設定を終了します。

参考

- 携帯電話のアプリケーションでも設定ができます。詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。なお、アプリケーションの取扱説明書は、専用アプリ「CASIO CLOCK+」のヘルプ、もしくは弊社ウェブサイトのクロック DWS-200J のページをご覧ください。

携帯電話と一緒に使う

時計と携帯電話を Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、天気予報を表示することができます。使用可能な携帯電話については、弊社ウェブサイトをご確認ください。

アプリケーションをインストールする

携帯電話と一緒に使うには、「iTunes App Store」からカシオオリジナルのアプリケーション「CASIO CLOCK+」を携帯電話にインストールしてください。

- ① 「iTunes App Store」を開きます。
- ② 検索フィールドに「CASIO CLOCK+」と入力します。
- ③ 「CASIO CLOCK+」をインストールします。

Bluetooth を設定する

携帯電話の Bluetooth 設定をオンにします。

- ① 携帯電話のホーム画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
- ② 「Bluetooth」をオンにします。
- ③ 「設定」をタップして「設定」画面に戻ります。

参考

- 設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングする

時計と携帯電話を一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。一度ペアリングすれば、次からは必要ありません。その後は常時接続です。通信距離（約 5m）を離れると接続が解除されますが、近づけば自動で再接続します。

- ① ペアリング相手の携帯電話を、時計の近く（1m 以内を推奨）に置きます。
- ② ホーム画面で「CASIO CLOCK+」アイコンをタップします。

③ アプリケーションの指示に従って操作します。

- 表示された画面で「新しく接続する」をタップしてください。
- 時計本体の裏側にある  ボタンを約 5 秒間押し続けます。
- アプリケーションの画面の「次へ」をタップします。
- アプリケーションの画面と時計の画面に 4 枠の英字と数字が組み合わさった番号が表示されます。
- アプリケーションに表示された 4 枠の番号「DWS-200J ****」をタップします。
- ペアリングを開始し、成功すると時刻と天気予報 * が表示されます。

* 天気予報は携帯電話の GPS 機能を使い、お使いの地点の天気予報を取得し表示します。

参考

- ペアリングに失敗したときは、手順 2 からやり直してください。
- 詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

天気予報の表示について

時計と携帯電話を Bluetooth で接続することで、天気予報を表示することができます。

天気予報地点や表示する内容は、携帯電話のアプリケーションで設定します。詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

また、表示する内容は、【DISPLAY MODE】を押して設定することも可能です。

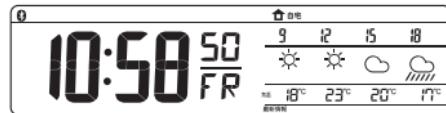
表示について…P.9

参考

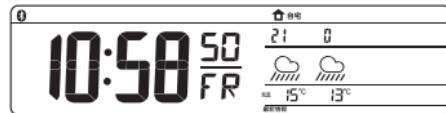
- 天気予報は、一般財団法人 日本気象協会から提供を受けています。
- 万一、本機能により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社同様一般財団法人 日本気象協会でも一切その責任は負えません。ご使用の際は利用者の責任においてご使用ください。

◆3 時間ごとの天気を表示

現在時刻に一番近い時刻から順に、3 時間ごとに最大 18 時間先まで、6 つの時刻の天気予報を表示します。



- 画面に表示されるのは 4 つの時刻の天気予報です。残りの 2 つを切り替えて表示するかしないかは、携帯電話のアプリケーションで設定します。画面切り替えの設定をオンにした場合、約 5 秒で残りの 2 つの時刻の天気予報に表示を切り替えます。

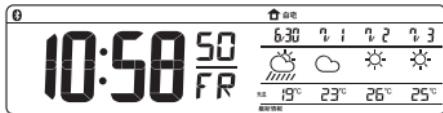


- 天気の下に各時刻の気温が表示されます。
- 気温表示は降水量表示に切り替えられます。変更はアプリケーションで設定します。

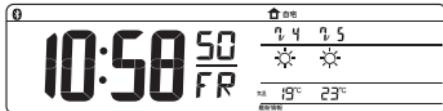
天気予報の表示について

◆1日ごとの天気を表示

6日分の天気予報を表示します。



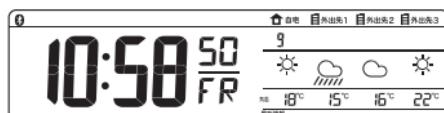
- 画面に表示されるのは4日分の天気予報です。
- 残りの2日分を切り替えて表示するかしないかは、携帯電話のアプリケーションで設定します。画面切り替えの設定をオンにした場合、約5秒で残りの2日分の天気予報に表示を切り替えます。



- 天気の下に各日の最高気温を表示します。
- 最高気温表示は降水確率表示に切り替えられます。
変更はアプリケーションで設定します。

◆4地点の天気を表示

4地点の3時間ごとの天気予報を表示します。



- 画面に表示されるのは、現在時刻に一番近い時刻の4地点の天気予報です。
- 4地点の3時間ごとの天気予報を切り替えて表示するかしないかは、携帯電話のアプリケーションで設定します。画面切り替えの設定をオンにした場合、約5秒で次の時刻の天気予報に表示を切り替えます。

◆天気マークについて

表示される天気マークは、それぞれ以下を示します。

天気マーク	天気内容
	晴れ
	晴一時・時々・のち曇
	晴一時・時々・のち雨
	晴一時・時々・のち雨か雷雨
	晴一時・時々・のち雪
	晴一時・時々・のち雨か雪
	曇
	曇一時・時々・のち晴
	曇一時・時々・のち雨

天気マーク	天気内容
	曇一時・時々・のち雨か雪
	曇一時・時々・のち雨か雷雨
	曇一時・時々・のち雪
	曇一時・時々・のち雪か雷雨
	雨
	雨か雪・みぞれ
	雨か雷雨
	雨一時・時々・のち雪
	雨一時・時々・のち晴
	雨一時・時々・のち曇

天気予報の表示について

天気マーク	天気内容
	雨か雪一時・時々・のち晴れ
	雨か雪一時・時々・のち曇
	暴風雨
	雪
	雷雪
	雪一時・時々・のち雨
	雪一時・時々・のち晴
	雪一時・時々・のち曇
	暴風雪

参考

- 3時間ごとの天気の場合天気マークは晴、曇、雨、雪、曇一時雨、曇一時雪、雷雨、みぞれで表示します。

表示の濃さを見やすく調節する

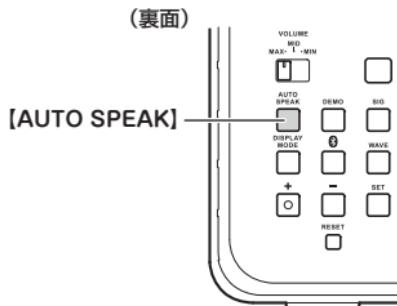
「ボタンを押して時刻などを修正する」(21ページ)の手順2

で<コントラストセット表示>を選んで調節します。

- 【+】を押す：表示濃度が濃くなります。
- 【-】を押す：表示濃度が淡くなります。

音声ガイド機能の使い方

[AUTO SPEAK] を約 5 秒以上押し続けると、音声ガイドの ON/OFF が切り替わります。



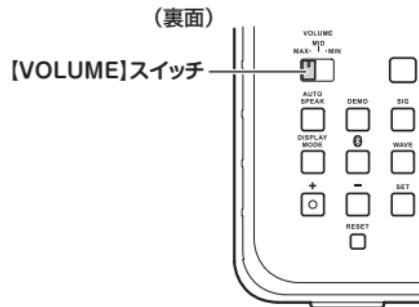
注意

- 音声ガイドの以下の内容は、携帯電話のアプリケーションで設定します。
 - 年・月・日・時刻ガイド
 - 3 時間ごとの天気予報ガイド
 - 環境お知らせガイド
 - アプリケーションで音声ガイドの設定をしていない場合は AUTO SPEAK を ON にできません。
 - AUTO SPEAK マークが点滅して消えます。
- 詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

- 再生中に音声ガイドを止めたい場合は、本体のボタンのいずれかを押してください。

◆音声ガイドの音量調節

[VOLUME] スイッチで、音量を調節します。



ボタンを押して時刻などを修正する

携帯電話とBluetooth接続できないときや、電波が受信できないときに、ボタンを押して時刻を修正します。

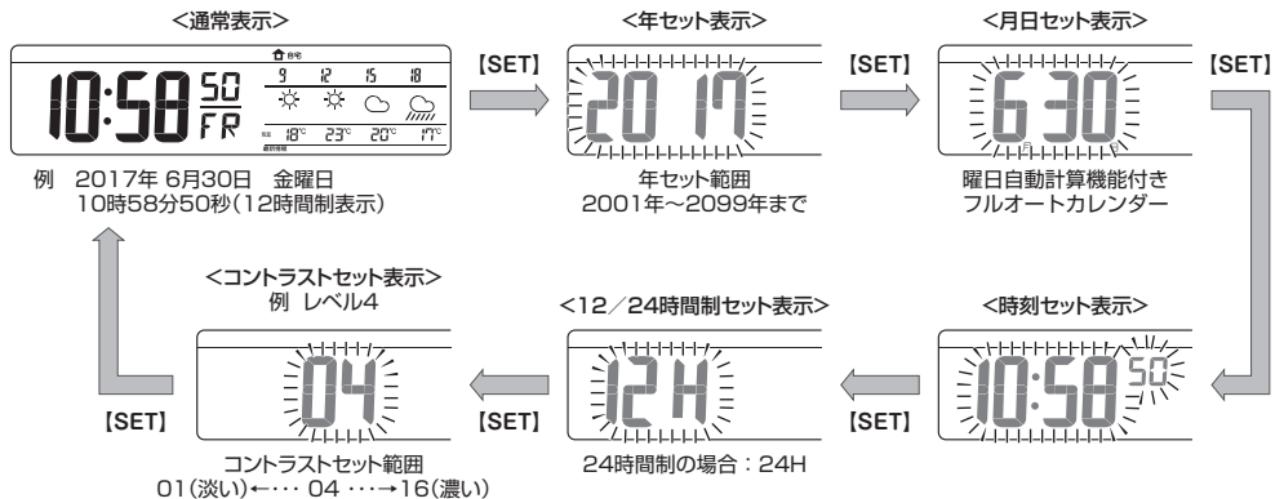
① [SET] を押して、時刻などを修正する状態（セット状態）にします。

修正できる項目が点滅します。

- ・セット状態で2～3分間何も操作しないと、自動的に＜通常表示＞に戻ります。

② [SET] を押して、修正する項目を選びます。

[SET] を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。



ボタンを押して時刻などを修正する

③【+】または【-】を押して、年月日や時刻などを修正します。

＜年セット表示＞、＜月日セット表示＞、＜時刻セット表示＞のとき

- 【+】を押す：点滅個所の数字が進みます。
- 【-】を押す：点滅個所の数字が戻ります。
- ボタンを押し続けると早送り／早戻しができます。

＜時刻セット表示＞のとき

- ボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで、「00」秒からスタートします。

＜12／24 時間制セット表示＞のとき

- 【+】または【-】を押すごとに、時刻の表示方法（12時間制／24時間制）が切り替わります。
- 12時間制：午後は“PM”マークが点灯します。
- 24時間制：“24H”マークが点灯します。

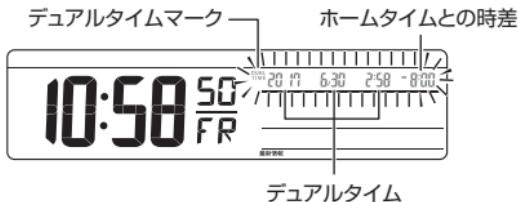
④【SET】を押して、＜通常表示＞に戻します。

デュアルタイムの時差を設定する

① [DISPLAY MODE] を3回押します。

- 項目3が点滅します。

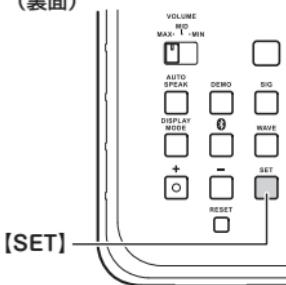
② [+] または [-] を押して、デュアルタイム表示の点滅状態にします。



③ [SET] を押します。

- 時差セット画面になります。

(裏面)



デュアルタイムマーク ホームタイムとの時差



④ [+] または [-] を押して、15分単位で時差を設定します。

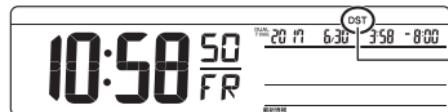
日本からの時差 -21 時間 <UTC-12> ~ +5 時間 <UTC+14> で 15 分ごとに設定できます。

⑤ [SET] を押してセットを解除します。

⑥ [DISPLAY MODE] を押して、<通常表示>に戻します。

参考

- 携帯電話のアプリケーションでも設定ができます。
詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- 通常表示で [+] を押すとデュアルタイムが1時間進みます。戻すには [-] を押します。



時報機能の使い方

任意の時刻（セット単位：1分）に時報を鳴らすことができます。

時報は音声で、7種類から選択できます。

時報は12本まで設定できます。

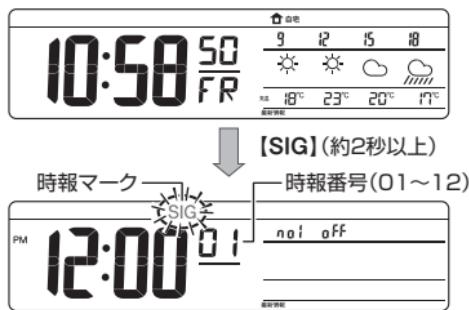
12本の時報はそれぞれ、1TIME（1回だけ鳴る）か、DAILY（毎日、設定した時刻に鳴る）かOFF（鳴らない）を選択できます。

時報の設定

①【SIG】を約2秒以上押し続けて、時報を設定する状態（セット状態）にします。

- ・時報マークが点滅します。

<通常状態>



- ・セット状態でボタン操作がない場合は2～3分で通常状態に戻ります。

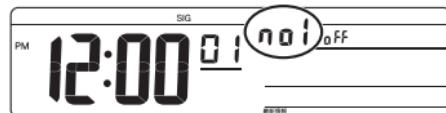
②【+】または【-】を押して、1分単位で時刻を設定します。

- ・ボタンを押し続けると早送り／早戻しができます。

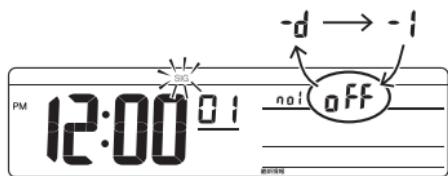
③【DEMO】を押して、音声を選択します。

- ・押すごとに、表の順に音声が鳴ります。

no 1	予定の時刻です。
no 2	外出の時刻です。
no 3	お迎えの時刻です。
no 4	薬の時刻です。
no 5	散歩の時刻です。
no 6	ごはんの時刻です。
no 7	電話の時刻です。



- ④ [AUTO SPEAK] を押して、時報の種類を選択します。



-d	毎日鳴る (DAILY)
-i	その日だけ鳴る (1 TIME)
off	オフ (OFF)

- ⑤ [SIG] を押すと、次の時報のセット状態になります。

- 希望の時刻をセットし終えたら [SIG] を押して時報番号を先に送り、通常状態に戻します。
- 音声ガイドの内容は、携帯電話のアプリケーションでも設定ができます。
詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

音量調節

[VOLUME] スイッチで、音量を調節します。

温度・湿度の表示と生活環境お知らせ機能

温度と湿度の計測データをもとにお部屋の状態を分析して、5つのアイコンと音声でお知らせします。注意が必要な環境になると、4種類の注意アイコンが点灯または点滅して、注意のレベルを2段階でお知らせします。

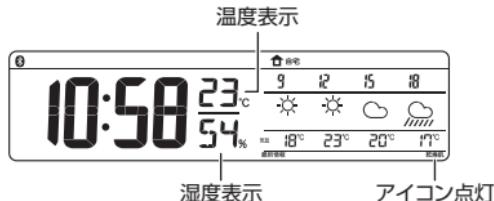
アイコン点灯 → 注意

アイコン点滅 → さらに注意

- 注意アイコンが点灯・点滅した場合に、音声でお知らせします。
- 音声ガイドの内容は、携帯電話のアプリケーションで設定します。詳しくはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

◆計測機能について

専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。



● 注意

- アイコンは、手動で点灯／消灯できません。各アイコンの設定範囲から外れると、自動的に消灯します。
- アイコンが何も点灯しない場合があります（快適とはいえないが、注意アイコンは点灯しない環境です）。

各アイコンの意味と説明

アイコン	説明
快適	原則として、温度 20～28℃・湿度 40～60%の範囲のとき、表示されます。
熱中症	熱中症になりやすい環境
カビ・ダニ	カビ・ダニが発生しやすい環境
風邪	風邪ウィルスが活性化しやすい環境
乾燥肌	肌乾燥（荒れ）に注意が必要な環境

- お知らせアイコンは、一般財団法人 日本気象協会との共同企画で開発しています。
- 一般財団法人 日本気象協会では生活に密着した気象情報を提供しています。
詳しくはウェブサイト <http://tenki.jp/> をご覧ください。
- お知らせアイコンは、あくまで目安としてご使用ください（各お知らせアイコンが点灯または消灯していても安全性を保証するものではありません）。
- 万一、本機能により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社同様一般財団法人 日本気象協会でも一切その責任を負えません。ご使用の際は利用者の責任においてご使用ください。

ボタンを押して電波を受信する

すぐに時刻を合わせたいときなど、必要なときにボタンを押して電波を受信します。

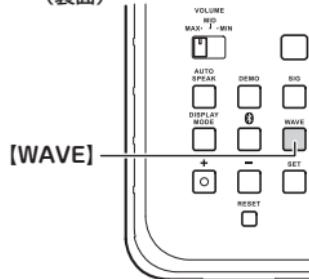
注意

- 本機は、標準電波とBluetooth接続の両方で時刻修正ができます。携帯電話をお持ちの場合は、アプリケーション「CASIO CLOCK+」をインストールし、Bluetooth接続による時刻修正を行ってください。天気予報情報も取得します。
- 携帯電話と接続しているときは携帯電話からの時刻修正が優先されますので、自動受信は行われません。

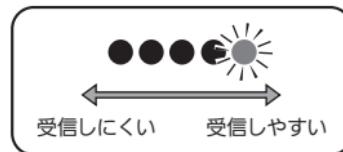
① 時計を置きます。

② [WAVE] を押して、受信を開始します。

(裏面)



- 受信中は、受信インジケーターが点灯／消灯します。
- 置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケーターで確認します。



● 注意

- 電波受信が終了するまで、時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

③ 電波を受信できたかどうかを確認します。

《電波を受信できたとき》

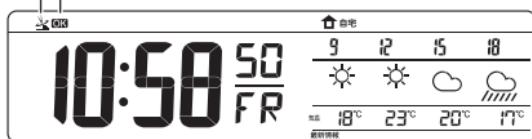
現在の年月日と時刻に修正し、“OK”マークと“”マークが点灯します。



マーク
1日1回以上、電波の受信に成功していることを表します。



マーク
最新の電波の受信に成功していることを表します。



《電波を受信できなかったとき》

年月日や時刻を修正しません。“OK”マークと“”マークは点灯しません。

- 「電波を受信できないときは」(30ページ)をご覧ください。

電波を受信できないときは

- ・一昼夜、時計をその場所に置いておきます。
昼間は電波が受信できなかった場所でも、夜間には受信することができます。
電波の状況は、周囲の地形や建物、季節、天候、時間帯(昼／夜)などで変化します(「電波時計について」(38 ページ) 参照)。
- ・定期的に、窓際などの電波を受信できる場所に時計を持っていき、ボタンを押して電波を受信します(「ボタンを押して電波を受信する」(28 ページ) 参照)。
電波を受信した後、設置場所に戻します。
- ・手動で時刻などを修正します(「ボタンを押して時刻などを修正する」(21 ページ) 参照)。
この場合の時計の精度は、「製品仕様」(32 ページ)に記載している「Bluetooth・電波受信による時刻修正ができない場合」の精度になります。また、標準電波、Bluetoothともに受信ができない場合は、通常のクオーツ時計として動作します。
- ・時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。
変更後、電波受信のボタンを押して、新しい設置場所で電波を受信できるかどうかを確認してください(「ボタンを押して電波を受信する」(28 ページ) 参照)。

電波受信機能を解除する

電波受信機能を解除するときは、<通常表示>のときに
【WAVE】を8秒以上押し続けます。

- “受信オフ”マークが点灯します。

注意

- “受信オフ”マークが点灯しているときは、電波受信による日付・時刻合わせをしません。「ボタンを押して時刻などを修正する」(21ページ) を参照して、手動で設定してください。

参考

- 携帯電話のアプリケーションでも設定ができます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表 示 内 容：カレンダー（年・月・日・曜日）、時刻表示（時・分・秒）、午後マーク／24時間制表示（24H）、デュアルタイム、天気予報（3時間ごと天気予報・日ごとの天気予報）：
予想気温（3時間ごと）、予想最高気温（日ごと）、予想降水量（3時間ごと）、予想降水確率（日ごと）、温度表示（最高最低温度）、湿度表示（最高最低湿度）

電 波 受 信 機 能：自動受信（7回／日）、手動受信
自動受信開始時刻

AM2:01、3:01、6:01、10:01
PM2:01、6:01、10:01

自動選局機能

[受信電波 長波標準電波 JJY]
周波数 40kHz / 60kHz

精 度：Bluetooth・電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±30秒以内

音声ガイド機能：日付・時刻・天気予報・環境モニターを音声でお知らせ

時 報 機 能：プログラム時報 12本
設定した時刻（時・分）に設定した音声でお知らせ

温 度 計 測 機 能：計測範囲 0°C～40°C *1
計測精度 ±2°C (0°C～40°C) *2
• 1分に1回計測します。 *3

湿 度 計 測 機 能：計測範囲
10%～90% (0°C～49.9°Cにおいて結果表示) *4

計測精度
±10% (5～40°C、10～90%)
(例 湿度50%の場合、40%～60%となります) *2
• 1分に1回計測します。 *3

- *1 -0.1℃以下、40.1℃以上でも温度を計測しますが、本機の温度保証範囲外となります。
-20℃以下は“LO”表示、50℃以上は“HI”表示となります。
- *2 温度・湿度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度・湿度を計測／表示するものです。そのため、急激な変化が起きてても、その温度や湿度を表示するまで（時計内部がその温度や湿度と同じになるまで）約30分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。
- *3 電波受信中、時刻などのセット中は、計測を中断します。
- *4 9%以下は“LO”表示、91%以上は“HI”表示となります。
湿度表示は温度が0℃～49.9℃の範囲外では“--”表示となります。

生 活 環 境：お知らせアイコン、音声ガイド
お 知 ら せ 機 能

モバイルリンク：自動天気情報取得機能
機 能 決まった時刻に自動で天気情報を取得する
自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる
音声ガイド設定機能
音声ガイドのオンオフ、報知時刻、間隔を設定
時報設定機能
報知時刻、音声、回数を設定
温湿度送信機能
本体で取得した温湿度を携帯電話に送信する
通信仕様
Bluetooth low energy 技術
通信距離 ~5m(環境により変化)

製品仕様

そ の 他：12／24 時間制表示切り替え、
コントラスト調節、
フルオートカレンダー

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
CMOS-LSI

使用温度：0°C～40°C

使用電池：単2形アルカリ乾電池 2本

電池寿命：約1年
(携帯電話と24時間接続している状態で、音声ガイド機能を1時間ごとに16回使用した場合)

◆音声ガイドの設定と電池寿命の関係

音声ガイド間隔の設定例とおおよその電池寿命

音声ガイド間隔の設定	1日当たりの音声ガイド時間設定
	16時間
10分	3か月
30分	8か月
1時間	1年

* 音声ガイドは天気予報と時刻の音声ガイドを使用した場合

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

本機でできること

- 表示切替
- 時刻設定（手動セット、電波受信）
- デュアルタイム設定
- 時報設定
- 音声ガイドのオン・オフ
- 音声デモ再生
- 音量調整

アプリケーションでできること

- 表示切替
- 天気予報設定
 - 天気予報地点の選択
 - 天気予報音声ガイドの設定
 - 気温／最高気温と降水量／降水確率の切替
 - 画面切替のオン・オフ
 - 都市切替間隔設定
- 時刻設定
 - 電波による修正、携帯電話による修正の選択
 - 時刻音声ガイドの設定
 - 24 時間表示設定
- デュアルタイム設定
- 時報設定
- 温湿度
 - 環境お知らせ音声ガイドの設定
 - 温湿度の記録表示

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさせてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- 以下のようなところに本機を置くことは避けてください。
 - テレビの近くなど（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
 - 時計、キャッシングカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど
- 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。
- 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。
- 液晶表示は、使用温度範囲（0°C～40°C）を超えると、表示が見にくくなることがあります。
- 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

電源に関するご注意

- 電池の残量が残っている場合でも1年に1回は全部の電池を交換してください。
- 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
 - 誤動作（時刻のリセット、時刻のずれなど）することがあります。
 - 液晶表示は薄くなったり消えたりします。
 - アナログ時計は時計が遅れたり針が止まったりします。
 - 音声は再生されません。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることができます。
* モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

使用電池について

- 本機は、アルカリ乾電池の特性に合わせて設計されています。
- 充電式電池は、使用しないでください。初期電圧が低く、電池の特性が合わないため、使用すると本機が正常に動作しない、または電池寿命が極端に短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻情報〔日本標準時〕をのせた標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

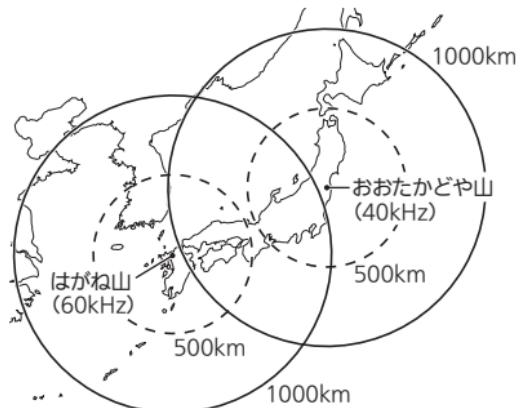
日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。

標準電波を正しく受信した場合でも、時計内部の時刻演算処理などによって時刻を表示するまでに1秒未満のずれが生じます。

標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県の「おおたかどや山」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」（60kHz）から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで一時送信が中断されることもあります。

電波の受信範囲の目安



条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

- ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
- 受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。

- 電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。
- 一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

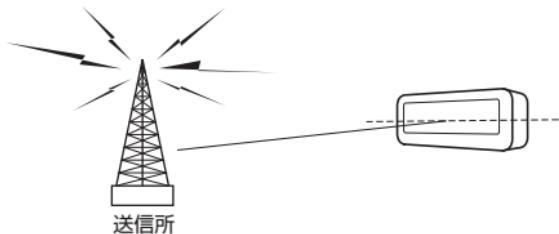
電波受信について

- 本機は「おおたかどや山」(40kHz) と「はがね山」(60kHz) の 2 局より受信しやすい方の電波を自動的に選択して、受信します（自動選局機能）。通常は毎日、自動的に電波受信します（自動受信）。
- ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後 24 時間自動受信は行いません。ただし、この間に手動受信を行うと、その時点で自動受信禁止を解除します。
- 電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
- 電波の自動受信は、1 日 7 回 (AM2:01、3:01、6:01、10:01、PM2:01、6:01、10:01) 行います。
- ただし、下記の場合は、自動受信は行いません。
 - 時刻や時報が「セット状態」になっている
 - 電波受信機能をオフにしている
 - 携帯電話と接続状態である
- 本機が受信できる電波は「日本の標準電波だけ」です。

正しく電波受信するために

最も受信しやすい設置のしかた

- 時計表示部または裏面を電波送信所に向かい合うようにする
- 金属板の上などを避けて窓際で行う



- 電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。
- 本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。
- 受信中（受信インジケーター表示中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。

使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。以下ののような場所では、電波を受信しにくくなります。



マンションやビルなどの鉄筋、
鉄骨の建物の中およびその周辺
(ビルの谷間など)

- ただし、窓際で使用すると受信しやすくなります。



高压線、架線の近く



乗り物の中
(自動車、電車、飛行機など)

	家庭電化製品、OA機器のそば、 金属板の上 (テレビ、スピーカー、FAX、 パソコンなど)
	電波障害の起きるところ (工事現場、空港のそば、交通 量の多いところなど)
	山の裏側…など

モバイルリンク機能に関する注意事項

●法律上のご注意

- 本機は、日本の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。

●安全上のご注意

⚠️ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

●モバイルリンク機能使用上のご注意

- 携帯電話は、本機の近くに置いてご使用ください。5m以内が目安ですが、周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。

- 本機は、他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。

- 本機のBluetoothは無線LAN対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線LAN対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH, FH-OFDM 複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
- 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」（「取扱説明書」を参照）にお問い合わせください。

無線に関するご注意

- 下記認証番号を付与された無線モジュールを内蔵しています。



R 018-140077

商標、登録商標について

- Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- iPhone, App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。